

# ほくと・ななえ入退院支援連携強化研修会 アンケート集計結果

n47 = (回収率88.7%)  
研修参加人数:53名

## 1. 所属エリアをお聞かせください。(該当にチェックをつけてください。)

・函館市	22	(46.8%)
・北斗市	17	(36.2%)
・七飯町	5	(10.6%)
・その他(木古内)	2	(4.3%)
・無回答	1	(2.1%)
合計	47	(100.0%)

## 2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	8	(17.0%)
・介護機関	38	(80.9%)
・その他	1	(2.1%)
合計	47	(100.0%)

## 3. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	0	(0.0%)
・保健師	3	(6.3%)
・看護師	6	(12.5%)
・ケアマネジャー	21	(43.8%)
・相談員	4	(8.3%)
・介護職員	6	(12.5%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	1	(2.1%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・鍼灸師・マッサージ師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	1	(2.1%)
・事務員	0	(0.0%)
・行政	0	(0.0%)
・その他 (社会福祉士6名)	6	(12.5%)
合計	48	(100.0%)

(複数回答 1名含む)

#### 4. 皆様の参加目的や要望(知りたい, 期待したい)を達成することはできましたか?

・達成できた	40	(85.1%)
・どちらともいえない	6	(12.8%)
・達成できなかった	0	(0.0%)
・無回答	1	(2.1%)
合計	47	(100.0%)

#### 【理由】

##### 【入院医療機関】

###### <医療相談員>

- ・事例を通して, 色々な意見交換ができてよかったです。
- ・グループワークで各機関の見解を聞くことができた。

###### <看護師>

- ・多職種の方の講義やグループワークで意見交換できた。サマリーの存在を知らなかったのが, 実際道南地域で活用されていることがわかりました。思いやり, 伝えることを忘れずに取り組んでいきたいと思いました。
- ・活用方法が分かった。
- ・情報共有のツールの活用方法を知ることができて良かったです。
- ・情報を共有するためには何が必要か, これからどうしていくのか・・・(時間・働き方・労働資源・・・)
- ・連携サマリーの実際の活用方法を知ることが出来ました。

##### 【介護事業所】

###### <ケアマネジャー>

- ・サマリーの記入方法, 有効な活用方法を修得できたと思う。
- ・知らない情報を聞く事ができた。サマリーの作り方をくわしく知りたかった。
- ・詳しくは分からなかったのが, 良かったです。
- ・時間配分がうまく出来ていなかったと思う。
- ・2名の先生の講演の内容で, 色々とツールの使用の方法やフィードバックなど理解しやすかったです。
- ・IDリンクの活用例
- ・情報ツールの活用方法と他事業所の違いなどを学びたかった。
- ・医療連携サマリーの成り立ち, 背景, どのように活用されているかなど, 事例を交えてよく理解することができました。
- ・他職種の方とお話できたり, サマリーについてはより知れて見方が改めて理解できてよかったです。
- ・現在サマリーを活用していないため, 今後活用してみたいと思った。
- ・退院時のサマリー等
- ・自分の思っていることの情報を得ることができた。
- ・他職種からの考え方, 使い方などを知る事が出来たこと。

###### <介護職員>

- ・グループワークにより他施設や他職種の方の意見などが聞けて良かったです。
- ・IDリンク, サマリー活用を知ることができて良かった。
- ・サマリーの作成の仕方を学びたかったのが, 実践でチェックを迷う箇所が多くありまして出来ない実感を持って良かったと思います。
- ・入退院時の情報に関する視点の違いが少し理解できた。

###### <保健師>

- ・それぞれの事業所さんのサマリーについての使用方法や思いを知ることができた。
- ・サマリーが伝えつながらる過程を聞くことができて, サマリーを活用しようという気持ちになりました。

##### 【その他】

###### <社会福祉士>

- ・サマリーの効果的な使い方を知ることができた。
- ・テーマ1・2について, グループワークし, 改めて気付きがあった。共通ツールの必要性と活用を理解した。
- ・連携サマリーについて再確認することができました。

## 5. 今回のテーマ(内容)はいかがでしたか？

・よかった	46	(97.9%)
・どちらともいえない	0	(0.0%)
・よくなかった	1	(2.1%)
合計	47	(100.0%)

### 【意見】

#### 【入院医療機関】

##### <医療相談員>

- ・ サマリーの使い方や情報共有のあり方について考えることができました。必要となる情報が不足したり、情報があふり過ぎて必要な情報がみつからないなど課題があり、互いに見やすくわかりやすい情報を共有していきたいと思いました。
- ・ 他機関の連携についての意見を聞いて良かったです。

##### <看護師>

- ・ 時間が少ない…。グループワークの時間がもっとあればと感じた。

#### 【介護事業所】

##### <ケアマネジャー>

- ・ ID-Linkについても聞くことができて良かった。
- ・ 入院時で利用していたので、入院だけではなくいろいろな場面で利用ができることがわかりました。
- ・ 医療サマリーを共有することには共感するが、話しの内容はいかにこのサマリーを使っている函館は素晴らしいという自慢にしか聞こえなかった。
- ・ 講師の先生方のお話し、わかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 「伝える」「つながる」がわかりやすかったです。IDリンクの活用方法などもわかりました。
- ・ 毎年、行ってほしい。
- ・ 医療機関のサマリー(入院時)での情報提供で、今の方法でよいのか、医療側が求めていることなど知ることができ、意志疎通や連携の方法など話し合える、とても貴重な機会となりました。
- ・ グループワークでいろいろな意見を聞くことができた。
- ・ わかっていてもなかなかとつきづらい所でした。でも大事なところなので、これから、お勉強をしていきたいと思いました。
- ・ 情報をいただく(知らせる)―繋げる―支えるなどの事を知る事が出来た。

##### <相談員>

- ・ 時間は短かったですが、サマリーに書いてみるワークができて良かったです。

##### <介護職員>

- ・ サマリーやもしもノートなどの活用で多職種や医療機関とスムーズに連携できるのは素晴らしいと思いました。
- ・ グループで他機関の方とお話しが出来て良かったと思います。
- ・ 他職種の方々の意見が聞いて良かったです。

##### <保健師>

- ・ サマリー活用方法について理解することができました。ただ、やはり、スムーズに使えるようにソフトにしよう(SECさんに入れてもらう等)など工夫が現状では必要と思います。
- ・ 実際にサマリーを記入することで、難しさを改めて共感することができました。利用者様のために、どんどんサマリーを活用したいと思いました。

#### 【その他】

##### <保健師>

- ・ サマリーの活用の実際、現在の作業部会の取り組み、進捗について知ることができた。

##### <社会福祉士>

- ・ 事例を用いながらわかりやすい内容でした。
- ・ 医療、介護の連携を図るうえで共通のツールは必要だと感じました。活用に向けて検討したいと思います。

## 6. 今後どのような内容の研修会を希望されますか？

### 【入院医療機関】

#### <医療相談員>

- ・今回と同内容でグループワークの時間を長くとれたらと思います。

#### <看護師>

- ・今後、渡島西部の医療圏でサマリーを活用することができればと思います。
- ・コミュニケーションのとり方

### 【介護事業所】

#### <ケアマネジャー>

- ・施設から送ったサマリーが病院でどのように活用しているか。
- ・困難事例検討会
- ・わからないことが多いので、仕事に役立つ研修会に出たいです。
- ・内容よりも進め方だと感じた。無理にグループワーク→発表という形式は必要ないのでは？と感じた。
- ・ヘルパー事業所についての研修会。(業務内容について、わからないことが多いため)
- ・この研修会を行ったあとにサマリーで活用してみた結果どのように変化があったか、どうなったかの研修。

#### <相談員>

- ・ID-Linkについて知りたいです。(実物の画面を見てみたい)

#### <介護職員>

- ・高齢者虐待防止や介護技術の向上の研修、最新の福祉用具など。
- ・何度参加しても発見が有ると思いますので、くり返しのテーマも良いと思います。
- ・北斗・七飯・函館での違いがあるのでその統一に向けての研修、資料等。

#### <保健師>

- ・実際にIDリンクがどのような場で活用されているのか。(函館市内の包括は使用しているのか)

### 【その他】

#### <社会福祉士>

- ・市民や町民も参加できる研修会を希望します。専門職のみならず地域全員でどのような医療・介護で連携を取っているのかを知ってもらうことで、スムーズに入退院ができるのではないかと思います。
- ・具体的な作成のポイント、活用方法。
- ・カンファレンスの進め方、情報共有のコツ等を知りたい。

7. その他、ご意見・ご質問等ございましたらご記入ください。

**【入院医療機関】**

**<医療相談員>**

- ・顔の見える連携として、このような会を開催していただきありがとうございました。

**<看護師>**

- ・グループワークは、色々な方とお話しできる良い機会です。
- ・多職種でディスカッションすることで、様々な意見を聞くことができ、自分の見聞を広げることができました。ありがとうございました。

**【介護事業所】**

**<ケアマネジャー>**

- ・連絡先をあと1行増やしてほしい。医療情報の行数がたりない。あと2行増やしてほしい。
- ・医療・介護の壁はまだあると感じます。
- ・多職種の方と意見交換できて、よかったです。今後もこういった会を継続してやっていただけると嬉しいです。

今日もいつもありがとうございます！！サマリーと介護ソフトが連動して情報が入力できるようになったらいいのになと思います。

- ・た。ICTの大切さも初めて知りました。亀谷さんのお話し分かりやすかったです。IDリンクのお話しも聞いてありがたかったです！！

**<介護職員>**

- ・はこだて医療・介護連携サマリーを伝える、繋げていきたいと思いました。

**【その他】**

**<社会福祉士>**

- ・遅くまでありがとうございました。
- ・グループワークは、雰囲気良くて良かったです。研修会ありがとうございました。

**<福祉用具関連し>**

- ・今日は、ありがとうございました！！

ご協力ありがとうございました。